

神々の物語が、見慣れた景色を特別にする。

### 白鳥伝説が残る古の神社 白鳥神社

古来から神山と崇められた白鳥山中腹にひっそりと建つ神社です。

白鳥となったというヤマトタケルノミコトを主祭神としています。

この辺りでは後々まで、白鳥の殺生が禁じられていたそうです。

軍神としても崇められ、島津氏が武運を祈り、社殿の新築などを行っていました。

東大寺大仏殿を支える虹梁には、白鳥神社のアカマツが使われています。



### 神話のふるさと県民大学 開催の目的

これまで記紀編さん1300年事業によって、みやざきの神話や伝承、神楽などさまざまな魅力が掘り起こされてきました。これらの文化資源は、県民の財産です。大切な宝をみなさまと共有するために、「知る・学ぶ・触れる」機会の場として、「神話のふるさと県民大学」を開催します。宮崎県が「神話のふるさと」である理由や意義を改めてご理解いただき、次世代へと語り継ぐ基盤づくりとして、県民のみなさまに寄り添った講座として開催してまいります。

### 会場一覧 ※駐車場に限りがありますので、公共交通機関のご利用に御協力ください。

講座	開催日	講座会場	定員	締切日
リレー講座	9/3(土)	JA・AZMホール本館大研修室 (宮崎市霧島1丁目1-1)	120名	8/19(金)
	11/26(土)	宮崎県企業局県電ホール(宮崎市旭1丁目2-2)	90名	11/11(金)
	12/18(日)	宮崎県防災庁舎51・52号室 (宮崎市橋通東2丁目10-1)	120名	12/2(金)
神楽学フォーラム	令和5年1/21(土)	宮崎県企業局県電ホール(宮崎市旭1丁目2-2)	90名	令和5年1/6(金)

1回だけの参加も大歓迎! 神話のふるさと県民大学 お申し込み方法について

### 【電話・FAX】

担当者が対応いたします。ご希望の開催日・参加希望者名(2名まで)・郵便番号・住所・電話番号をお伝えください。

電話番号 0985-22-1122

[月~金] 10:00~17:00

FAX番号 0985-22-1128

※祝日を除く

「神話のふるさと県民大学受講希望」と明記し、開催日・参加希望者名(2名まで)・郵便番号・住所・電話番号・FAX番号をご記入の上、お申し込みください。なお、複数の会場をお申し込みの場合は、それぞれの開催日ごとの参加希望者がわかるよう明記してください。

### 【インターネット】

応募フォームより参加希望者名(2名まで)・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレスをご入力の上、お申し込みください。なお、複数の回をお申し込みの場合は、受講希望の開催日を複数選択してお申し込みください。

携帯・スマートフォンからも、ご応募できます。



ホームページ <https://www.umkag.com/events/shinwa/>

【応募締切】 講座ごとに締切日がございます。詳しくは、上記「講座一覧」をご覧ください。※先着順

【当選通知】 いずれの方法でお申し込みいただきましても、当選者には、聴講券を送付いたします。当日は、聴講券を必ずご持参ください。

新型コロナウイルスの感染の状況によっては、講座が変更・中止となる可能性があります。その場合には、県ホームページでお知らせするとともに、各講座参加予定の方にはご連絡いたします。

### 参加に当たっての留意事項~新型コロナウイルス感染拡大予防のために~

1. 受講される方は、以下の項目について必ず御協力をお願いいたします。  
●来場前の体温測定 ●マスク着用 ●入口に設置した消毒液で手指消毒 ●整列時の間隔は最低1m空ける
2. 以下の場合には参加をご遠慮ください。  
●37.5℃以上の発熱があった場合 ●咳・咽頭痛などの症状がある場合 ●新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある場合 ●過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合 等
3. 厚生労働省が新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開発した接触確認アプリ(COCoA)の利用についてご協力ください。
4. 講座ごとに、受講者の氏名・連絡先を記載した名簿を作成し、来場者の感染が判明した場合は、保健所等の公的機関へ名簿の情報提供を行いますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ先

株式会社UMKエージェンシー内「神話のふるさと県民大学」事務局  
TEL.0985-22-1122 FAX.0985-22-1128



# 神話のふるさと 県民大学

10th  
Shinwa no  
Furusato  
Kenmin  
daigaku

宮崎県立看護大学との連携講座です。

- ◎県内外の多彩な講師陣によるリレー講座を実施
- ◎多様な視点で神楽をひも解く神楽学フォーラム

2022年9月3日(土)から全4回

参加無料

神々の物語が、見慣れた景色を特別にする。



# 「神話」を聞く・学ぶ・楽しむ。

楽しむ 「楽しく」学びたい人向け

深める 「より深く」学びたい人向け

神話のふるさと県民大学 記紀関連県民講座

楽しむ

## 【トークイベント】日向神話を歩く

日時 9月3日(土)13:30~16:30 会場 JA・AZMホール大研修室

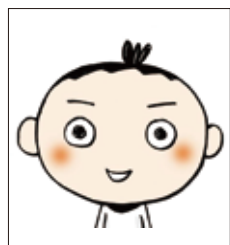
3名の講師による軽快なトークにより、日向神話や神社について楽しみながら学びます。

定員 120名



國學院大學 教授 **平藤 喜久子氏**

学習院大学大学院修了。博士(日本語日本文学)。主な著書に「神話の歩き方」(集英社)、「神話でたどる日本の神々」、「神社ってどんなところ?」(ちくまプリマー新書)、「世界の神様解剖図鑑」(エクスナレッジ)などがある。



イラストレーター **上大岡 トメ氏**

神様めぐりマニア。「ふくもの(縁起物)」を日夜探す「ふくもの隊」隊長。著書にミリオンセラー「キッパリ!たった5分間で自分を変える方法」をはじめ「神社さんぽ1、2」、「日本のふくもの図鑑」等多数。平藤喜久子氏の「神話でたどる日本の神々」のイラストも担当。



フリーアナウンサー **中西 可奈氏**

KKB鹿児島放送のアナウンサーとして、14年勤務。夕方ニュースのキャスターなどを務め、2020年から地元宮崎を拠点にフリーで活動を始める。鹿児島時代は、仕事を通して、新しい時代を命がけて築いてきた薩摩の偉人たちに魅了されました。今回は、このイベントを通して、神話が息づく、地元宮崎の素晴らしさを学び、そのことを、一人でも多くの方に伝えることができたらと思っています。

楽しむ

## 日本人と歌~記紀万葉から現代短歌まで~

日時 11月26日(土)13:30~16:30 会場 企業局県電ホール

日本人の心や文化を万葉歌・記紀歌謡・現代短歌とおして学びます。

定員 90名



國學院大學 教授 **上野 誠氏**

國學院大學大学院文学研究科博士課程修了。万葉文化論を標榜し、ユニークな視点とソフトな語り口で人気上昇中の若手万葉研究者。MBSラジオ他多数のメディアに出演し、「万葉集」を学ぶことの楽しさを多くのひとに伝えている。「万葉学者、墓をしまい母を送る」(講談社)で第68回日本エッセイスト・クラブ賞など受賞。

### 記紀歌謡の魅力



宮崎県立看護大学 教授 **大館 真晴氏**

都城市生まれ。國學院大學大学院文学研究科博士課程後期修了、博士(文学)。奈良県立万葉文化館研究協力員。古事記学会理事。主な著書に「日本書紀の作品論的研究—人物造形のあり方を中心に—」(國學院大學大学院研究叢書)、「日本書紀【歌】全注釈」(共著、笠間書院)、「日本書紀と古代天皇の謎」(共著、KADOKAWA)「神話の源流をたどる 記紀神話と日向」(上野誠・大館真晴編著、KADOKAWA)など。

深める

## 神を迎える神事について ~出雲と日向~

日時 12月18日(日)13:30~16:30 会場 宮崎県防災庁舎51・52号室

神話をより深く理解したい方に向け、学術的であり深みのある講座をお届けします。

定員 120名



出雲大社 権宮司 **千家 和比古氏**

島根県出雲市生まれ。國學院大学大学院文学研究科(日本史学考古学専攻)修士課程修了。國學院高等学校教諭を経て、昭和60年から出雲大社奉職。主な共著書に「上総山王山古墳」、「日本玉作大観」、「古代を考える出雲」、「古代出雲と風土記世界」、「伊勢と出雲の神々」、「出雲大社」など、論稿に「出雲大社の、いわゆる神仏習合を伝える絵図の検討」など。



お茶の水女子大学 名誉教授 **荻原 千鶴氏**

お茶の水女子大学大学院博士後期課程修了。同大学教授等を経て名誉教授。博士(人文科学)。主な著書に「日本古代の神話と文学」(塙書房)、「出雲国風土記」(講談社)、主な論文に「九州風土記と『出雲国風土記』」(『古事記年報』57)、「大伴旅人考」(『萬葉集研究』37)など。島根県出雲町の特別顧問も務める。



青島神社 宮司 **長友 安隆氏**

宮崎市生まれ。國學院大學大学院博士課程前期修了、修士(神道学)。明治神宮奉職後、青島神社第20代宮司就任。宮崎県神社庁研修所講師、教師師、保護司、青島商工振興会会長等歴任し、地域護持に尽力する。主な論文「戦時下神道界の様相~從軍神職と英霊公葬運動を中心として~」(明治聖徳記念学会紀要復刊第34号)等。



MRT宮崎放送 アナウンサー **川島 恵氏**

島根県大田市で生まれ、その後高校卒業まで松江市で過ごし、小学校低学年の頃には、地元大田市の地区行事で神楽「八岐大蛇(ヤマタノオロチ)」を舞うなど、神話の世界を身近に感じながら過ごしてきました。神話のふるさと「宮崎」と、ご縁の国「しまね」のつながりを、取材等を通して感じながら情報発信しています。

# 「神楽」を感じる・考える・伝える。

深める

神楽学フォーラム「神楽を受け継ぐ各地の試みと実践」

日時 令和5年1月21日(土)13:30~16:30 会場 企業局県電ホール

地域の伝統文化を未来へ残すために、各神楽の取組みの紹介と小川先生の講演を行います。

定員 90名



國學院大學 教授 **小川 直之氏**

専門は「民俗学」。文部科学省文化審議会専門委員、無形文化遺産保護条約に関する特別委員会委員などを歴任。現在は、宮崎県のみやざきの神楽魅力発信委員会委員長として、みやざきの神楽の保存継承や魅力発信に携わる。独立行政法人日本芸術文化振興会評議員や南信州民俗芸能継承推進協議会アドバイザー、中国の南開大学客員教授などを務める。

高千穂三田井神楽保存会 **今村 康薦氏**

銀鏡神楽保存会 **妹尾 翔平氏**

大河内神楽保存会 **梅北 実利氏**

菟川神楽保存会 **園田 雄一郎氏**

## WEBでの動画配信 ご案内

講座は、YouTubeで配信ご視聴いただけます。(講座終了4日後から令和5年3月31日(金)まで)



YouTubeチャンネル「神話のふるさと宮崎」にて配信



- 講座の映像、発言など配信される情報には著作権が生じます。法律上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。
- インターネット回線の状況や視聴側のPC環境により、映像が途切れたり停止したりするなど正常に視聴できないことがあります。

## 漫画 日向神話1・2 好評配信中!!

宮崎県は、「古事記」や「日本書紀」に描かれた日本発祥の物語の舞台とされ、各地に神話や伝承、ゆかりの地が数多く残されています。県では、多くの県民に日向神話に親しんでもらうことを目的に、日向神話の漫画本を制作しています。漫画は県内の公立の図書館で閲覧できるほか、「神話のふるさと宮崎」ホームページでも無料で閲覧できます。

【神話のふるさと宮崎ホームページ】  
<http://www.kanko-miyazaki.jp/shinwanofurusato/sp/pamphlet.html>



3巻制作中!



閲覧無料

